



公益社団法人
日本リハビリテーション
医学会 THE JAPANESE ASSOCIATION
OF REHABILITATION MEDICINE

第79回日本リハビリテーション医学会

関東地方会学術集会ならびに

専門医・認定臨床医生涯教育研修会



開催日時：2023年9月10日（日）10：00～16：30

開催形式：現地およびweb配信（ハイブリッド）。教育研修会のみオンデマンド配信あり

会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

会長：高岡 徹（横浜市総合リハビリテーションセンター センター長）



交通アクセス：JR 横浜線／東海道新幹線／横浜市営地下鉄および相鉄・東急新横浜線
「新横浜」駅から徒歩約10分



事務局：横浜市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科

横井 剛

住所：〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1770

電話：045-473-0666（代表）

開催概要

○参加費等

- ・ 地方会参加費
医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生 無料
- ・ 日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会
1 講演 1,000 円

○単位認定

- ・ 地方会参加
日本専門医機構専門医は 1 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位）
認定臨床医は 10 単位
- ・ 生涯教育研修会
日本専門医機構専門医は 1 講演 1 単位
認定臨床医は 1 講演 10 単位
日本整形外科学会教育研修会（現地出席者のみ適応）

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。
利益相反がない場合もスライドで表示してください。

参加者の皆様へ

本学会は現地での発表及び質疑応答を Web 配信するハイブリッド方式としております。

1. 事前参加登録について

- (1) 下の本学会ホームページから登録画面にお進みいただき、必要事項を入力の後、フォームを送信してお申し込みください（日本リハビリテーション医学会生涯教育研修会ならびに日本整形外科学会教育研修会の単位申請をされる方は、事前参加登録と併せてお申し込みください）

<https://event.event-planner.net/#/viid83pb>

事前参加登録の締め切りは 2023 年 9 月 9 日（土）とさせていただきます。

- (2) 参加費と受講料については登録画面から申し込み後、カード決済にてお支払いとなります。
お支払い後、マイページにて領収書が発行できます。また登録されたメールアドレス宛てにお支払い完了の確認メールが返信されます。そして学会当日の Web 参加については、マイページから視聴画面に進むことができます。

2. 学会当日のご参加について

(1) 現地参加の場合

当日現地参加される際は、お支払い完了メールもしくは領収書を受付でご提示ください。
コロナウイルス感染症予防のため、ホール内での食事はお控えいただきますようお願い致します。
また昼食会場はラポール内に用意しておりますが、ラポール内にはレストラン等はありません
のでご了承ください。会場周辺にはコンビニエンスストアや飲食店がございますのでご利用ください。

(2) WEB 参加の場合

大会当日マイページからご入室ください。

Zoom ウェビナーにて入退室記録を確認いたします。

(生涯教育研修会単位取得をご希望の方は原則1講演につき1時間の聴講が必要です。日本整形外科学会教育研修会の単位については現地参加のみとさせていただきますのでご了承ください)

3. 生涯教育研修会のオンデマンド配信について

9月16日(土)から9月30日(土)まで生涯教育研修会を録画した内容をオンデマンド配信いたします。新たにオンデマンド配信のみ聴講したい方は9月11日(月)から9月25日(月)までに事前参加登録と同じ登録フォームから参加登録をおこなってください。参加登録後マイページから視聴可能となります。

4. 学術集会参加単位と教育研修受講単位は事務局から日本リハビリテーション医学会へ申請いたします。

一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法

(1) 発表時間は6分、質疑応答は2分です。発表時間は厳守してください。

(2) 発表はPCを使います。会場演者PCは、Windows / PowerPoint2019 / Zoom 接続を予定しています。

(3) 発表データは、2023年9月5日(火)までに事務局(yokoi.t@yokohama-rf.jp)にお送りください。タブレット端末やノートPC、USBデータなどのお持ち込みによる発表はできません。
また作成にあたってフォントはOS標準のものをご使用いただき、スライドサイズは標準(16:9)で作成ください。Macintoshをご利用の方は、フォントを含む互換性確認済みのPowerPoint2019でご準備をお願いいたします。

(4) 発表時はCOI開示のスライドをご提示ください。

(5) 発表の順番が近づきましたら、次演者席にて待機してください。

2. 講演セッション開始30分前までに受付を済ませてください。(第1部の方は9時30分、第2部の方は10時30分、第3部の方は12時50分までにそれぞれ受付をお済ませください。)

3. 抄録原稿の作成について

日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿「演題名、演者名、演者所属、抄録（本文 400 字以内）」を作成し、発表データと合わせてデジタルデータとして、2023 年 9 月 5 日（火）までに事務局（yokoi.t@yokohama-rf.jp）にご提出ください。

4. お預かりしましたデータは、終了後、責任を持って消去いたします。

第 79 回日本リハビリテーション医学会

関東地方会学術集会 プログラム

○発表者

講演時間 6 分、質疑応答 2 分

【一般演題：第 1 部】10:00 ~ 10:50

座長：栗林 環（横浜市障害者更生相談所 所長）

1. 発症から就労まで長期的に支援した多発性脳梗塞の一例

横浜市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科

○橋本直樹、倉兼明香、横井 剛、高岡 徹

2. 生活訓練事業を用いた高次脳機能障害者への包括的リハビリテーション

—川崎市の地域リハビリテーション体制における実践—

川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎

○斎藤 薫

3. 脳性麻痺患者に対するタブレット操作用頭部装着式自助具の処方経験

東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科¹⁾

幸和義肢研究所²⁾

東京小児療育病院³⁾

○安島和斗¹⁾、石田勇人¹⁾、三浦健一²⁾、原田 孝³⁾、鶴岡 広³⁾、大国生幸¹⁾

4. 乳幼児期から筋電義手に向けた支援を実施した 1 例

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科¹⁾

神奈川リハビリテーション病院 研究部 リハビリテーション工学研究室²⁾

○横山 修¹⁾、山上大亮¹⁾、鈴木明日香¹⁾、兼城賢修¹⁾、對間泰雄²⁾、岩瀬 充²⁾、丸田耕平²⁾、尾崎雄飛²⁾、中澤若菜²⁾

5. 本邦における摘便の疫学研究－レセプト情報データベースの性別年齢階級別・月別件数(2014-2020年)を用いて－

京都府立医大大学院 運動器機能再生外科学(整形外科)¹⁾

京都府立医大大学院 リハビリテーション医学²⁾

○城戸優充¹⁾、生駒和也¹⁾、大橋鈴世²⁾、三上靖夫²⁾、高橋謙治¹⁾

6. 人工膝関節全置換術前の3週間の運動療法が術後の筋力と体力に与える影響

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学講座¹⁾

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学²⁾

○梅本安則^{1、2)}、幸田 剣²⁾、中村 健¹⁾

【一般演題：第2部】11:00～12:00

座長：高田薫子(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター リハビリテーション科 医長)

7. COVID-19感染症による当院回復期リハビリテーション病棟入院患者への影響

中野共立病院リハビリテーション科¹⁾

東京女子医科大学病院 リハビリテーション科²⁾

○中空真二郎¹⁾、七條祥恵¹⁾、前田慶子¹⁾、中川美和¹⁾、山田 智¹⁾、若林秀隆²⁾

8. COVID-19関連横断性脊髄炎に対するリハビリテーション治療が有効であった一例

東京医科歯科大学病院 リハビリテーション科

○梶田麻奈、高階祐輔、平尾昌之、酒井朋子

9. 心筋梗塞後に脊髄梗塞、低酸素脳症を合併した症例

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科

○鈴木明日香、兼城賢修、山上大亮、横山 修

10. ビッカースタッフ脳幹脳炎に罹患した30歳代男性に対するリハビリテーション経験

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室¹⁾

医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院²⁾

○奈良和樹¹⁾、大嶋 理¹⁾、柳瀬智水²⁾、菅原英和²⁾、川上途行¹⁾、辻 哲也¹⁾

11. 急性リンパ性白血病に静脈洞血栓症を合併した脳血管障害の一症例

横浜市立大学市民総合医療センター リハビリテーション科

○乾聡一郎、浅野広大、根本明宜

12. 左後頭葉の脳梗塞により純粋失読を呈した症例

千葉県千葉リハビリテーションセンター¹⁾

千葉大学医学部附属病院²⁾

○坂本拓也^{1、2)}、浅野由美¹⁾、赤荻英理¹⁾、中山 一¹⁾、近藤美智子¹⁾、武内靖幸¹⁾、瀬野光蔵¹⁾、菊地尚久¹⁾

13. 高次脳機能障害を呈した若年性両側視床梗塞の一例

牧田リハビリテーション病院 リハビリテーション科¹⁾

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座²⁾

○杉山みづき^{1、2)}、猪飼哲夫¹⁾、川手信行²⁾

・・・・・・・・・・昼休憩・・・・・・・・・・

【総会】 13：00 ～ 13：15

【一般演題：第3部】 13：20 ～ 14：10

座長：梅本 安則（横浜市立大学リハビリテーション科学講座 准教授）

14. 線毛機能不全症候群に対し肺移植施行後のリハビリテーション治療経験

獨協医科大学 リハビリテーション科

○星合 宗、入澤 寛 中村 智之 千葉 友美 美津島 隆

15. IgG4 関連ニューロパチーに対し体外衝撃波治療を施行し歩行の自立に至った一例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

○知野俊文、竹川 徹、渡邊 修、山田尚基、橋本弦太郎、小野航暉、赤川立樹、江南、安保雅博

16. 視覚的に認識しにくい下肢痙性に対して足底圧計によるフィードバックを行った一例

防衛医科大学校病院 リハビリテーション部

○田村吏沙、杭ノ瀬真理、倉橋利佳、古屋真里、尼子雅敏

17. 胸腺腫摘出術前後の Stiff Person 症候群に対する急性期リハビリテーションの一例

東京慈恵会医科大学 リハビリテーション科

○江崎祥太、安保雅博、羽田拓也、上原朋子、柏原一水、鈴木 慎、濱 碧、吉田健太郎、
知野俊文、三尾仁人

18. 慢性期統合失調症を有する高位脛骨骨切り術後の患者に対してリハビリテーションを実施した一例

防衛医科大学校病院 リハビリテーション部

○倉橋利佳、杭ノ瀬真理、古屋真里、田村吏沙、中村洋介、尼子雅敏

19. リハビリテーション科の介入により早期治療が進められた CO 中毒後大腿骨頸部骨折の一例

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座

○中山麻理、正岡智和、吉富明利、村瀬悠輔、屋城俊洋、武藤祐汰、小林崇久、石渡有沙、塩山竣介、
星瑛里子、飯田 守、橋本圭司、川手信行

専門医・認定臨床医生涯教育研修会《関東地方会》

○研修会区分： 1. トピックスー総論

2. 関連領域ー治療・介入

認 定 単 位：認定臨床医：1 講演 10 単位

リハビリテーション科専門医：1 講演 1 単位

整形外科専門医：1 講演 1 単位（現地参加のみ）

受 講 費：1 講演毎に 1,000 円

認定臨床医受験資格要件：認定臨床医の認定に関する内規第 2 条 2 項 2 号に定める
指定の教育研修会（必須以外）に該当します。

【教育講演 1】 14：20 ～ 15：20

座長：横井 剛（横浜市総合リハビリテーションセンター 医療部長）

「社会参加とアクセシビリティ」

東洋大学人間科学総合研究所・客員研究員、東洋大学・元教授
川内 美彦 先生

【教育講演2】 15:30 ~ 16:30

座長：高岡 徹（横浜市総合リハビリテーションセンター センター長）

「パラスポーツを通じた健康増進と社会参加促進の取り組み」

東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科・教授

緒方 徹 先生

本学術集会の開催にあたり、皆様から多数のご協力を賜りました。

ここに深甚なる感謝の意を表します。

第 79 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会 会長 高岡 徹